






「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書

※整理番号：5

<b>企画名</b> 茶室「小春日和」
<b>実施日</b> 令和 5年 6月 22日(木) ~ 令和 5年 7月 30日(日)
<b>実施場所</b> 建築会館ホール(東京都港区芝5-26-20)
<b>企画代表者の氏名、所属</b> 氏名：瀬戸裕樹 所属 広島大学大学院先進理工系科学研究科 学生番号：M232438
<b>構成員の氏名</b> 高尾耕太郎 谷卓思 塚村遼也
<b>指導的立場の教員氏名</b> ※報告内容をご確認の上、ご署名または記名・押印をお願いします。 中園哲也
<b>企画の目的及び内容</b> (1) 企画の目的及び期待される効果 提案により、秋の小春日和の出会いを祝福するような茶室空間を作り出す。大会委員会による指導のもと1/1模型を製作し、実際に使用される建築物を設計、製作する経験を通じて、同世代の間での交流や建築の面白さ、難しさを体験することが出来る。 (2) 企画の具体的な内容(図面等があれば別紙として添付してください) 提案内容として、包装資材に用いられるPPバンドを用いて茶室空間を構成する。具体的にはPPバンドを編み込んだシートからユニットを作り、それらを積層しパネル化することによって空間を作る。PPが持つ透明性と日本の伝統色に包まれた空間は茶会をにぎやかに彩る。材料についてはPPバンドはホームセンターで購入した。
<b>来場者数</b>
<b>主催・後援団体(外部のコンテスト等に参加する場合は、そのコンテストの規模)</b> 主催：日本建築学会 建築文化週間 学生グランプリ 2023 銀茶会の茶席
<b>活動の内容(準備、広報活動、当日の様子等)</b> 発案から模型作成までの流れを以下に示す。 ①秋をテーマにした茶室について「小春日和」に注目した。 ②制作素材について捨てられる包装資材「PPバンド」に注目した。 ③「PPバンド」を使ってどうしたら「小春日和」を空間化できるのかスタディを繰り返した(写真1.2)。 ④空間を構成するひとつのユニットの形にたどり着いた。これをPPバンドで1/1スケールで制作した(写真3)。 ⑤折り紙を使って形態のスタディを繰り返した(写真4)。 ⑥決定した形態に沿って、1/10スケールの模型を作成した(写真5)。
 (写真1)  (写真2)  (写真3)  (写真4)  (写真5)

(裏面に続く)

# 「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書 (裏面)

アンケートの結果 (来場者にアンケートを実施した場合のみ)

## 成果・課題

### (1) 成果

2023年8月8日に行われた一次審査において、出展数60作品の中から審査員賞(木村知弘賞)を頂いた。審査員の先生からは、「華やかで楽しげな造形と空間が創出され、素材の選定・ユニット化などの工夫と工法上の緻密な検証がされている。」との評価を受けている。

### (2) 課題

全60作品から4作品のみ2次審査に進むことができるが、4作品に選出されることはなかった。課題として挙げられるのは、1/1スケールで構造的に成立するかどうか疑わしかったところであると考えられる。

## 実施風景 (写真)



PPバンドで制作した  
1ユニット用シート



ユニットの  
簡易圧縮実験の様子



ユニットの  
簡易引張実験の様子



PPバンドで制作した  
1ユニットの茶会後の使い道



1/10 模型の作成の様子1



1/10 模型の作成の様子2



1/10 模型の撮影の様子



制作した 1/10 模型

【提出方法】 指定された期限までに本紙を作成の上、電子ファイルで提出してください。  
E-mail でも受け付けます。

【提出先】 工学系総括支援室 (kou-gaku-gakubu@office.hiroshima-u.ac.jp)